2017

上江洲義秀 2月命ぬ琉球① 光話「無題」

YOSHIHIDE UEZU KOUWA SELECT 2017.2.23

ひとりびとりが愛の伝導体です
個人ごとの泣き言を言ってるときではありません

私が立てなかった2日間のセミナーを、
カバーしてくださったMさんや皆さんに心から感謝します。

で、今回の私の体の浄化は、もちろんすべての浄化も関係しています。
いちばん浄化してほしかったのは、
今、北朝鮮とマレーシアは非常に友好関係にあるといいます。
唯一、北朝鮮がビザもいらずに入国できるのはマレーシアといわれます。
おそらく今回の事件で、大きくカタチが変わっていくだろうと。
本当に私の体を引き換えて、それを浄化してほしかったと思ったんです。
本当に世界が平和であってほしいと望みました。

しかし神は「全体の浄化を見ることであって一部分ではない」と言われました。

だから地球にかかる比重がポジティブとネガティブ、
ネガティブにどれほど比重がかかったときに、地球は滅ぶという計算があります。
皆さんひとりびとりが愛の伝導体となり、今、この琉球、すべてのセミナーのなかで「ゆいまーる明想」をとおして世界を浄化していることを私は非常に嬉しく思います。

特に私の体に変化が起こり、皆さんには見ることもできぬでしょうけど、
あのMさんの体をとおして浄化している姿を見たのは北海道のセミナーでした。

Mさんが北海道のセミナーでヒーリング待ちの方々に、手つなぎで明想している姿を何回も見せてもらったとき、決してあなた方の自らの努力、自らの成長を妨げないほどの浄化がされていく姿を見ました。

皆さんひとりびとりが愛の伝導体です。
ぜひ我々は、もう個人ごとの泣き言を言っているときではありません。
このように一点の狂いが全世界を巻き込むんです。
あのトランプさんも含めて、今回のマレーシア、あるいは北朝鮮の関係する事件を含めて今、全世界が揺るごうとしているんです。

ひとりの身口意の間違いの責任を全世界の人間が背負う

だから「私だけがいい」はどこにも存在しません。
我は全体であり、全体、我なり。
我すべてであり、すべて我なり、であるかぎり。
で、先程もAさんが言われたように、ひとりの身口意の間違いの責任を全世界の人間が背負うということを理解してもらいたい。
私だけの幸せはありません。
全体の幸せであってこそ、私が幸せ。
全体の喜びがあってこそ、私が喜び。
あなた方の苦しみがわが苦しみです。
だからこそ、この身体を犠牲にしてでも、あなた方を根源の世界に返したいんです。

私の意識はすでに根源に錨（いかり）を下ろしています。
私の意識はすでに根源に根付いています。

大海にしみいる一粒のしずく、ひと粒なる我、ひとしずくなるあなた方

も、大海に根付いたとき、錨下ろしたとき、
今、私の思う気持ち、で、Mさんがやろうとしているその思い、
M子さんやAさん、Rさんを含め、もちろん皆さんひとりびとりが関係します。
我々のセミナーのなかに、自分さえよければいい、の意識状態、
そのような低級な魂の人間はひとりもいません。
全体の幸せを願う方々が、ここに集うことを知ってもらいたい。
全体のひとりびとりです。
無限の一部分です。
早くひとりびとりが愛の伝導体となり、今、地球にのしかかるネガティブな波動……愛という波動よりもポジティブな波動よりも、ネガティブな波動が地球という神の体にのしかかっているんです。

我々が愛を演じてこそ、地球も宇宙も、
神から与えられた役割を示すことができるんです

だから神の体である地球は、決してあなた方が単なる結果という物質に豊かになることを望むのではなく、ひとりびとりの放つ愛の波動を望んでいるんです。
なぜならば、宇宙は地球は、ひとりびとりが愛を演ずる舞台であるがゆえに、地球に宇宙に、役割を果たさせるためには、我々ひとりびとりが愛を演じなければならないんです。
我々が愛を演じてこそ、地球も宇宙も、神の体として神から与えられた役割を示すことができるんです。
だからこそ何年も説いてきました。
ものを動かしてるのは万物の霊長たる人間の意識であって、
ものを働かせているのは万物の霊長たる人間の意識であって、
決してものは勝手に動くこともない、決してものは勝手に働くこともな

い、と私は言い切りました。
じゃあ、たとえば花々の種。で、野菜の種、果物の種。
勝手に動きましょうか。勝手に働きましょうか。
万物の霊長たるあなた方が適している畑を見つけ、で、その種に適した肥料を与えて成長させていることは、万物の霊長たる人間の意識の働きではないでしょうか。
今回ここに活けた花は、Mさんが活けたか……。
この花を見た瞬間、私は感じました。
今回の花ほど力強く活けられているものを、私は見たことがありません。
なぜ上の方で赤いのが咲いているのか。
下で支えているものがいるからなんです。
まわりが支えているから、その上に立ち上がった赤い花が咲いて見えるんです。
我々もすべてを支え生きるひとりびとりであらんことを常に願うんです。
だから神を知った者は、決して怠け者となってはならぬというんです。

大いなる者は仕える者となりなさい

少しでも、誰よりも休みたい、寝たい。
まさに迷いといいます。
悟りある者は、いても立ってもいられないんです。
半透明になった状態で立つことできずとも、あなた方を一歩でも成長させたくて、立ちたくて立ちたくてウズウズするんだけど、半透明で立てないその体をMさんやSさんに止められて、部屋に閉じ込められて仕方なく皆さんの前に立てなかったんです。
皆さんには想像すらできません。働きたくて働きたくて。
常に僕（しもべ）であることを知ってます。

2017.2.23 命ぬ琉球① 沖縄

大いなる者は仕える者となりなさい。
悟り得た者こそ、我を悟っている者こそ、すべての僕（しもべ）となって働き手。
すべての働き手であるとともに、僕(しもべ)であることを知っています。
だから我々の学ぶ友は、ひとりも怠け者がいてはなりません。
常にすべての僕となって、この花々のように役割ある者を浮き立たせるために、常に下で、まわりで支える者であればいい。

私、何十年も何十年も疑問を抱かえてきました。
はりつけられたときイエス・キリストは、
全世界の、全人類の罪を背負ってはりつけられたといいます。
なぜ全人類の罪を背負ったのに、我々はここまでまだ汚れがいっぱい付着してるではないのか、と。
全世界から罪が浄化されているならば、もう世界は平和であってしかるべきではないのか、と。非常に疑問だったんです。

今回この状況におかれて、はじめてはっきりイエス・キリストのあの状況を納得しました。
全人類の罪を背負ってというのは、
この地球が滅ぶか生きるかは、全人類の総合意識のすべての総合された意識状態のあらわれ……この地球という神の体にかぶさるポジティブの波動か、ネガティブな波動かで決まります。
もしイエス・キリストがあのときに十字架にかかげられなかったならば、地球はとうに滅んでいたということを私は昨日見せつけられました。
はじめてそれをはっきり知りました。
だから皆さんも、ただ聖書・聖典・仏典のうわべを読んで納得したあなた方ではなく、本当にその境地に至って実感し理解できるあなた方であってほしい。

いつも言います。
「オレンジを手渡されて皮をむかず口に投げこまず、誰がそのオレンジの味を知った者がいるのか」と。
本当の味は、口に投げこんでこそ知ること。
決して我々は、観念や概念で描いた真理を説く者となってもなりません。
常に身口意をとおして、いつどこで誰と会っても誰に見られても、その身口意の正しさ美しさを、全世界の誰にでも示しうるひとりびとりであらんことを願うんです。
言葉で説くことは容易いことです。
誰彼に言うことも容易いことです。
一番大事なことは、真理は全一体であるならば、
今までゆるせなかった方、嫌いだった相手、常に嫉妬に嫉妬でもう愛せない相手。
そのひとりびとりをもう……。

Aさんが今日ヒーリングを受けながら私に言ってくれたんです。
「ヒーリングしながらバイブレーション高めたときは、あなたのヒーリングを受けてバイブレーションが高まったときは、いやおうなしにもすべてが愛おしくて愛おしくて」と。
「これが本来のあなたです」と言ったんです。

だから皆さんならば、物乞いでさえも愛することができるだろうと。
私の好きな、もちろんキリスト教、仏教、ヒンドゥー教、ユダヤ教、密教、イスラム教……どの学びもいい悪いはありません。
すべて本質は一つですから。一点の狂いもありません。
ただ教え説いている者がどうなのかであって、本質に変わりがあるはずはない。
ただし私の教えからしても、幾転生の自分自身の学びからしても、やっ

ぱりキリストのヨーガ、クリヤ・ヨーガは私は非常に大好きなんです。で、クリヤ・ヨーガを、まず多くの世界の人間に教え説いたあの偉大なババジ。
ラヒリ・マハサヤがどこかを歩いているときに、ババジがしゃがんで物乞いの足を洗っているところにぶつかりました。
ラヒリ・マハサヤはババジに言われました。
「偉大な師よ、なぜあなたが物乞いの足を洗うの？」
「物乞いと私、物乞いとあなたに何の違いがあるのか。私は今、物乞いの足を洗い、これからまた物乞いのお椀を洗ってあげて、天という根源の世界へ想像すらできないほどの宝を積もうとしている」と答えたんです。

昨日、私も言いました。
幼稚園のときです。
物乞いを棒で後ろからたたく友だち、石をぶつける友だちに、
「あなた方は誰に石をぶつけ誰を棒でたたいているのか。あなた方はまだそれ知らないのか」と言ったんです。
「棒でたたいている相手はあなた。石を投げつけた相手はあなた。あなた方はそれ知らないのか」と言ったんです。

この地球が欲しいのは、
ひとりびとりの放つ愛の波動なんです

しかし、どうしても結果というこの外観しか見えない者からすれば、あなたはあなたであって、私は私という錯覚でしか生きることほかにできぬ。
明想をとおして全一体とありなさい。
自らがその境地に至ってこそ、世界の状況すべてが手にとるようにわか

るでしょう。
今、神の体であるこの地球が欲しいのは「ひとりびとりの放つ愛の波動」なんです。
今の状態で、ネガティブな真っ黒いその波動が、この地球という神の体にその比重がかかったとき、のしかかったとき、地球は滅び去っていくんです。
私は元旦でそうは言わなかったけど、必ずや1月から3月の間には、国々を揺るがすほどの大事件が起こるだろうと説きました。

愚か者の生き方が、動物や鉱物・植物・人間、すべてのすべてのバランスを崩してしまった

人間社会でもその状態が起こり、また動物社会ではあのイタリアで、あのカモメはどこで生活していると思いましょうか。
カモメはどこを飛ぶといいましょうか。
カモメは海で生活しているんです。カモメは魚をつかみながら、魚をエサにしながら生活しているんです。
しかし今、イタリアではそのカモメは、海から30キロも離れた場所で街の真ん中で生活しているというんです。
なぜならば、万物の霊長たる人間のいたらなさが引き起こした温暖化現象で、もうカモメのエサがない。イワシやイカをエサにしているカモメのエサがもう捕れない。
しかしカモメも神に命を与えられているかぎりは、都合良いように都合悪いように、都合良いから都合悪いからで、自殺するわけにはいかない。
命与えられているかぎりは、生きていく能力を使っていかねばなりません。
海で捕れない魚を待つよりも、街に行けばどうなのか。
レストランからゴミ箱に捨てられるステーキや魚の残り物を探しながら

今、生きているんです。
だから人間という愚か者の生き方が、動物や鉱物・植物・人間、
すべてのすべてのバランスをこのように崩してしまったこと。

地球を美しい地球にするか、住めない破壊的な地球にするかは
すべて万物の霊長たる人間の意識次第なんです

ちょうど1ヶ月前か。東京のセミナーに出かけるとき、私はNさんがハンドル握る車に乗っていました。
Nさんが私に見せてくれたんです。
ラクダは皆さん、どこで生きていると思いましょうか。
砂漠のあの熱い砂の上なんです。
で、ヤシの木は寒いところではなく暖かいところで実をつけるんです。
しかしNさんが見せてくれたその携帯の写真は、ラクダがもうかなり雪に埋まって歩いている姿……暖かい国で実をつけるはずのあのヤシの木に雪がかぶさっているんです。
それ見せられれば、聞かされればびっくりするでしょう。
しかし私は何も、もうそれに抵抗もありません。
なぜならば、三十何年前に私はそれを予言していたんです。
暖かい砂漠に、暖かい国に、暖かい島に雪が降るときがくるだろうと。
去年はこの暖かい沖縄にも雪が降りました。
これは多くの方々が認めたがゆえに、あの気象庁もそれを認めて報道しました。
何十年前にも一度沖縄にも雪が降ったんです。
しかしそれは絶対に認めてくれなかったんです。

このように地球という神の体が勝手に身震いする、地軸を狂わして身震いすることはありません。

そうさせているのは、動物や鉱物・植物でもありません。
地球を美しい地球にするか、住めない破壊的な地球にするかは、
すべて万物の霊長たる人間の意識次第なんです。
だから神の体である地球のあらわれは、70億の万物の霊長たる人間の意識の、集合意識のあらわれというんです。

花々は、美しく咲きほこることはできても、地球を変えることはできません。
動物、象はライオンは、草原は駆けめぐることはできても、地球を変えることはできません。
雨は、地表を洗い流すことはできても、地球を変えることはできません。
美しい地球へと、神が私が創造した以上に、もっと住みよい美しき地球に建設してほしいとあなた方ひとりびとりに託したんです。
だから我々は、あえて今の泥沼化した厳しい時代に出てきた勇気あるあなた方なんです。
もうこの時代に生まれいくならば絶対につぶれる、絶対に今の宿題を克服することができぬ、という者ならば、絶対に出てきていなかったでしょう。

泥沼に花咲く蓮の花よりも、真我として美しき花を開花させるためには、この泥沼化したその泥を、逆に栄養に変えて吸収して我々は成長していくことを知っていたがゆえに、勇気あるあなた方が今生出てきたんです。

蓮の花は、ゆえに悟りを象徴にして用いられているんです。
泥沼の奥深いところから、泥沼に押されることもなく、埋もれることもなく、その硬いカラをぶち破って、逆にその泥沼から栄養を吸収して、光に飛び出して咲きほこっているがゆえに悟りを象徴にするんです。
我々も容易い今生の人生であったならば、容易く歩める道であったなら

ば、そこに花開いても、そう価値はなかったでしょう。

しかし、ひとりびとりの人生……人生とは道です。
ひとりびとりの人生の道として今、厳しい歩みをしています。
そこに皆さんは、久遠常在、不滅にして実在である花を咲かしてこそ、
もう永遠に価値ある者と神に招かれていくんです。
決してわが内に潜む小さな小さな針先一点よりも小さな感情から湧き出
てくる、うらみや怒りや嫉妬という分離感に振り回されて、今生の開花
を遅らせてはなりません。

だからこそ「三つ子のように素直でありなさい」というんです。
2歳、3歳の子どもたちは、あの人は良い人、あの人は悪い人と識別す
ることはありません。
すべてのすべてあってあるものに本質を見ているんです。
我、命なり。あなた方も命なり。
我の命、あなた方の命は全体の命。
全体の命こそが、これこそすべての実体、すべての本質。
それを理解できぬかぎり、今のように、あの北朝鮮のように、
兄弟同士で親子同士で、常に常にそこに殺し合いという場をもたねばな
りません。

神の体であるこの地球を、無限の喜びで満たしたい

なぜ今、地球という神の体は悲しんでいましょうか。
なぜ地球という神の体は涙を流していましょうか。

皆さん、その意識状態、その境地に一体となれば、手に取るようにわか
るでしょう。

愛を演ずるべき万物の霊長たる人間が、毎日戦争、毎日テロという行為。
愛を演ずることができていないがゆえに、地球という神の体は苦しんでいるんです。
神の体は涙を流すんです。

我々は、神の体であるこの地球を、無限の喜びで満たしたいと思っているんです。
緑したたる美しき神の体である地球を、これから生まれくる子や孫に、素晴らしき美しき財産として、神の体を残していきたいと思うんです。
それには権力も必要としません。
戦う武器も必要としません。
何もお金を必要としません。
あなた方にはじめから常に備え生かされている過去に今に未来永劫に備え生かされている、
「愛」のみを顕現すればいいことなんです。

思いに愛を。
言葉に愛を。
表現に愛を。

今日も愛で目覚め、愛でことをなし、
愛で今日の1日を終えていけるひとりびとり。
ならば、あっという間に神の体である地球は輝いていくでしょう。
地球の輝きは、万物の霊長たる我々の輝きなんです。
我々が曇れば、地球も曇るんです。
我々が輝けば、地球も輝くんです。
地球は我々の心の映し鏡なんです。
あなた方ひとりびとりが私の心の映し鏡であるように。

2017.2.23 命ぬ琉球① 沖縄

あなた方の磨きには限界がありません。
磨いても磨いても無限に無限に突き進むことができます

じゃあ、私は今、私の心に何を映し見ていましょうか。

曇りなき心に美しい姿。
すべては美しき天使たち。
無限に飛び立つ美しき天使たち。

私の心には、あなた方ひとりびとりがそのように映っているんです。
もし私の心に一点の分離・差別があるならば、ひとりだって嫌い、ゆるせない、憎い、愛せないがいるならば、あなた方の内なる真実の姿なんて私の心に映るはずはないんです。
曇りなき心に美しい姿。
この世の鉱物は、水晶もダイヤモンドも宝石も、世界一の研磨技術力をもってしても限界があります。
もうこれ以上は磨けぬ、という限界に必ずぶつかります。
しかしあなた方はどうなのか。
あなた方の磨きには限界がありません。
磨いても磨いても無限に無限に皆さんは突き進むことができます。

それをなぜ知るのか。昨日、明想をとおして……。
イエス・キリストがあの十字架に全世界、全人類の罪を背負ってはりつけられたといったにもかかわらず、なぜ今の世の中は？　と明想したとき、そこにすべての意味が明かされたんです。
で、その答えプラス、イエス・キリストやお釈迦様やあの偉大な方々がなおも無限に向かって自らを磨いている姿を見せられたんです。

2017.2.23　命ぬ琉球① 沖縄

神はこの宇宙に、一物だって不必要とするものを創造したことはありません

いついつまでも眠りをむさぼってはいけません。
どこか一国をダメにすれば、全世界へ影響があることを知ってもらいたい。
あなた方ひとりびとりがすべての一部なんです。
全体の一部なんです。
世界の一部なんです。
宇宙の一部なんです。
無限の一部なんです。
だから私の目に映るあなた方に、パズルとして不必要な者は誰一人だっていないんです。
もし全能である神が不必要な人間をひとりだって創ったならば、それは全能の神とはいえないんです。
その者にはその者の役割。
あのイエス・キリストが、全人類の罪を背負ってはりつけられるあの表現にも、裏切ってくれたあのユダがいなければ、あのストーリーは成り立つことができなかったんです。
ただしそれを知っていながら、そのような役割を演じたい人間なんていないゆえに、演じ終わるまではしっかりと伏せられたんです。
だから我々の学びのなかにも、神に演技をさせられているにもかかわらず、まだ演技をさせられていることを理解していない方々もいっぱいいます。

通訳をされているSさんへの説明……
（我々の学びのなかにもね、神が、たとえばSちゃんにはSちゃんの役

割を演じさせているよね？　しかしSちゃんの意識ではまだ自分で納得してない。神にちゃんと使われているのに、まだ納得してない方もいっぱいいますよ…）

神はこの宇宙に一物だって不必要とするものを創造したことはありません。
すべてのすべてあってあるものが、この宇宙というパズルを完成させるためには、
一点、一物、ひとり、一匹、一輪、で一頭……。
すべてが必要として完成があることを知ってもらいたい。

いつもパズルをたとえるんです。
皆さんに１００ピースのパズルを組み立ててほしいって願います。
99は完璧に組み立てました。
置かれている場所も違う。カタチも違う。大きさも違う。
99は完璧に組み立てても、ただ一つだけカタチが気に入らない。色が気に入らない。置かれる場所が気に入らない。
ゴミ箱に捨ててみてください。永遠に完成しません。
しかし皆さんがゴミ箱からその捨てた一つを拾ってきて埋めたときに、宇宙のパズルは完成します。

だから私は一度は元子さん、捨てかけました。
もう十何年前か「二度とこの学びに来るな」って、私、追い払ったんです。追い出したんです。ゴミ箱に捨てました。
しかし埋まらないんです。完成しないんです。
またゴミ箱から拾ってきて置いたらドンドン埋まっていくんです。
だから我々は誰ひとり不要な者はいません。必要にして、すべてがここにそろえ生かされていることを知ってもらいたい。

無知のままに、盲目のままに、迷いのままに、
自らを限定・制約してはなりません

だからあなた方は、自分で自分を限定することなく、
誰彼から限定されることなく。

私は無力です、無知です、迷いです、盲目です。

皆さんそれを何といいましょうか。
自縛……自縛という文字は、誰彼に縛られるとは書かないんです。
自分で縛ると書くんです。
私、無知です、私、無力です、私、迷いです、私、盲目です。
まさか私が自縛していたならば、今生、まったくこの世の学問を受けていない私。読み書き、計算を学んでいない私。（神は）決して私を使うことはなかったでしょう。
しかし小さいときから、知恵の泉は自分の内側から湧き出てくることを私は実感していました。
我、知恵なり。わが内に知恵あり……文殊菩薩であることを知っていたんです。
だから知恵の泉を使える者は、この世の読み書き、計算、学問なんて関係ない。
宇宙の答えがすべてわが内にあることを知っています。
だからこそ神は、この伝導体をとおして兄弟姉妹の前に立たせてくれたこと。

今日からあなた方も決して、無知のままに、盲目のままに、迷いのままに、自らを限定・制約してはなりません。

2017.2.23 命ぬ琉球① 沖縄

本質は、過去に今に未来永劫に完全です。
イエス・キリストが、
「神が完全であるように我、完全なり。神が完全であるようにすべては完全であれ」と説いたのは、本質を生きるひとりびとり、本質に生かされているひとりびとりに、一点の狂いなくすべてが本質にして平等である、という意味なんです。
私だけが特別な人間、私だけに特別な能力を与えた、とは説いていないんです。
イエス・キリスト本人はこう説いてます。
「あなた方も本質さえ理解することができるならば、私以上の御業（みわざ）をなすだろう」と。

この2回の光話、セミナーを私がキャンセルしたときに、私の役割を埋めてくれるだろうか……と私は明想しながら部屋で思うなかに、Mさんはじめ M子さん、あるいはRさん、Aさんたちが、私以上の御業をなしてくれたではないでしょうか。
それはあなた方ひとりびとりにあなた方の役割を、ちゃんと神は備えて生かしている証なんです。

私にはできる
私にはやれる
私はすでに完成させている

神は人の上に人を創らず、神は人の下に人を創らず。
決して限定してはなりません。
20年、30年前のニュースで見ました。
アメリカの有名な科学者が、5名か6名そろって、ある一つの物質をここに仕上げた。

2017.2.23 命ぬ琉球① 沖縄

もう5名、6名のこの科学者が、5、6年の年月をかけてやっと創造した物質を仕上げたといいます。
しかし大学を卒業したばかりの青年が、わずか1週間や1ヶ月で簡単に仕上げてあったといいます。
世界でも有名といわれた5名、6名の我々が、5、6年かけて仕上げた物質を、なぜあなたには簡単にそれを作り上げることができたのか？
と聞かれたとき、ただ思いひとつ。

私にはできる。私にはやれる。私はすでに完成させている。

叡智の霊眼・水晶球、一つ目といわれたチャクラはすべてを描く設計室

おそらくその方は（知っていたんでしょう）。
この人間の人体には7つのチャクラ。
空には北斗七星。で、地には7つのシャンバラ。
7、7、7、という状態でこの宇宙は成り立っています。
一つ一つのチャクラに役割があります。
で、私は生まれながらに本能的に「7つのチャクラのこの6番目、叡智の霊眼・水晶球、一つ目といわれたチャクラは、すべてを描く設計室」ということを知っていたんです。
だから神も、宇宙を地球をすべてのすべてを創造し建設し生かすためにその設計室を使ったんです。
まあ、皆さんからすればまた五感で、神にも7つのチャクラが我々のように備わってあるのか、と思うでしょう。
7つのチャクラが並んで整列してあるのか、とまた勘違いするでしょう。
神はこの図面を描く設計室を使い、すべての創造を完成させたんです。
だから私も小さいときから、私が欲しいとするものは、

何百名、何千名、何万名と争っても、必ずその欲するものは私の手元に届いたのは……。
ただ、皆さんは欲しい、与えられるならば得たい。
皆さんの思いはその程度なんです。
だから絶対あなた方の前に来ないんです。
しかし図面を描く設計室で描かれたものは、もう１００％完璧なんです。
だから元子さんたちのグループが1個残った寿司を私が欲しい、誰が欲しいで争っても、
「もう死ぬほど欲しい」に行っちゃったんです。その寿司は（笑）。

描くならば、図面を描く設計室に「世界の平和」を

だから皆さんも描くならば、図面を描く設計室に描いてほしい。
じゃあ我々は何を描かねば……。

世界の平和です。
すべてのすべての幸せ喜びです。
それを明想という手段をとおしてアジュナ（チャクラ）という設計室に描きながら、
本質は命として、命は神として常に完全。

神が完全であるように我、完全なり。
神が完全であるようにすべては完全であれ。

完全意識のなかに間違いは起こりません。
今回の事件も、すべてそれは不完全意識からのあらわれなんです。
すべて偽我という偽りの結果のあらわれなんです。
だから正月明けたときも、２０１７年もっと厳しくなるだろうと。

世界を揺るがすほどの事件も起こるだろうといって、今回の事件が起こったではないでしょうか。
これで止まることはありません。まだまだ続くでしょう。

あなた方のフィルターが絶対愛であるならば
どんなネガティブも「愛」に変わる

しかし、それを食い止めるのは、あなた方の愛の伝導体次第です。
今日よりも明日、明日よりも次の日。
ひとりびとりが1日一瞬一瞬の成長において、また今日のひとりから明日のふたりへと、愛の伝導体となれる者が増えていけば増えていくほど、今、地球という神の体にのしかかるネガティブな波動が浄化されれば、必ずや解決されていくでしょう。

だからどんな破壊的な波動でも、あなた方のフィルターが絶対愛であるならば、あなた方をくぐるときはどんなネガティブも浄化されて、「愛」に変わって出てくるだろう、と私は言うんです。

ひとりひとりが偉大な浄化するフィルターを背負って生かされています。
できるかぎり二度と再び今回の事件のような現象が起こらぬように。

人類は一つ。
宗教は一つ。
神は一つ。
世界は一つ。
宇宙は一つ。
その境地にひとりびとりが融合できますように。

2017.2.23 命ぬ琉球① 沖縄

本当に今生の厳しい時代を選んで、
今この場にいる勇気ある皆さんひとりびとりに、
心から感謝します。

ありがとうございました。

はい、明想をとおして全世界へ
愛の波動を向けていきたいと思います。
はい、円を描いてください。
はい、身体を楽にしてください。
背筋をまっすぐに。
図面を描くこのアジュナのほうに、
我すでに愛なり。
我すでに命なり。
我すでに神なり。

オームの波動で無限に意識を拡げ
拡大してみてください。

2017.2.23 命ぬ琉球① 沖縄